

4 望まない受動喫煙をなくすために

県の行政機関における敷地内完全禁煙スタート(7月1日 山形市ほか)

この日、受動喫煙対策強化を目的に改正された健康増進法の一部が施行され、学校や病院等とともに行政機関が原則敷地内禁煙となりました。屋外喫煙所を設置する自治体もある中、山形県はさらに踏み込んで、県庁・出先機関計69施設で、屋外喫煙所を設置しない敷地内完全禁煙としました。県庁では同日朝、職員が喫煙所の灰皿を撤去し、扉を施錠しました。県が率先して取り組むことで、受動喫煙のない社会を目指していきます。



5 地域の若い声を県政へ

知事と若者の地域創生ミーティング(7月5日 最上町)

若者の豊かな発想を地域づくりに生かすため、知事と地域の若者が対話する地域創生ミーティングを「みつぎわ未来創造館らいず」で行いました。町内の農家や会社員など30歳から44歳までの男女10名が参加し、日ごろ感じている地域の課題、ワーク・ライフ・バランス、地域創生につながるさまざまなアイデアについて語り合いました。吉村知事からは「話し合うことは自身の成長と町の発展にもつながる。多くのつながりを持ってほしい。」との発言がありました。



1 山形のさらなる発展に向けて

在京有識者との県政懇談会(6月11日 東京都千代田区)

県政運営の方向性の検討に生かすため、本県にゆかりのある首都圏在住の有識者の方々と吉村知事が意見交換を行いました。初めに、都道府県幸福度ランキングに関する講演が行われ、本県が北海道・東北地域から初めて10位に入ったこと、飛躍的に順位が伸び、最も成果が上がっている県と評価できること、その要因や今後の課題等が説明されました。その後、出席者から、山形の強みや弱点を踏まえた今後の県づくりについて、広く意見をいただきました。



2 一刻も早く平穏な生活を取り戻すために

本県沖を震源とする地震の被災地視察(6月21日、23日、7月1日 鶴岡市・酒田市・遊佐町)

6月18日夜に発生した本県沖を震源とする地震は、県内観測史上最大の震度6弱を記録し、庄内地域を中心に多くの被害が生じました。吉村知事は、住宅被害が多かった鶴岡市小岩川地区やあつみ温泉等を訪れ、被災された方々から直接話をお聞きしました。県では、現地の要望やニーズを踏まえ、被災施設の復旧や住宅の瓦屋根の修繕支援等に取り組みました。引き続き、被災市町や関係機関と連携し、被災者の生活が一刻も早く元に戻るよう取り組んでいきます。



にっこり

知事室!



豊穣の秋『おいしい山形』周遊のススメ!!

山形の秋の風物詩といえば、芋煮会。芋煮は、地域によって具材等が異なりますが、私は内陸育ちなので、里芋、牛肉、コンニャク、ネギを醤油で味付け。子どもの頃から食べているのに全然飽きません。熱々の芋煮をほおぼる時の至福感!「山形に生まれて良かった」とつくづく思います(笑)。まもなく、稲穂が黄金色に色付く、収穫の季節。今年10年目を迎えるトップブランド米「つや姫」と、その弟君「雪若丸」も元気に育っています。秋の味覚のフルーツもたわわに実ります。

この4月には、東根市から南側が首都圏と高速道路で結ばれ、南東北3県に環状ネットワークも形成されたことから、本県の誇る農産物の物流スピードが格段にアップ。もちろん、県内周遊の利便性も向上しています。

山形には、国内外に誇れる美しい景観が数多くあります。皆さんも各地のイベントや個性豊かな産直施設、道の駅などに立ち寄り、文化や旬の食に触れながら、県内のビューポイントを巡ってみてはいかがでしょうか。



山形県知事 吉村 善子

3 さくらんぼで山形の魅力をPR!

第8回日本一さくらんぼ祭り(6月22日、23日 山形市)

山形の6月の恒例イベントとして定着した「日本一さくらんぼ祭り」が今年も開催されました。オープニングセレモニーは、本県の姉妹県州のパプア州があるインドネシア共和国の駐日大使夫妻にご臨席いただき、華々しく開幕。夕方からは、今回初の試みとして第2部「トワイライトフェス」が行われ、山形的美食・美酒を味わいながら、ジャズの演奏や花笠踊り等を多くの方に楽しんでいただきました。来場者は2日間で延べ27万3千人となり、過去最高のにぎわいとなりました。

